

昭和十二年9月分 鐵道收入概算表

Table with multiple columns: 線路名, 營業額, 旅客人員, 貨物運送量, 旅客收入, 貨物收入, 合計收入. Includes sub-totals for 全線, 東部, 中部, 西部, and 合計.

定額一箇月郵稅共 金價六十三錢共

發行所 京城府漢江十五番地 朝鮮總督府鐵道局

(大正十四年四月) 第三種郵便物認可 (日刊除日曜及祝祭日ノ翌日)



朝鮮鐵道總督府 局報 第三百七十二號

昭和十二年十月十三日 水曜日

達示

達甲第七百七十九號 昭和十二年八月達第五百四十號小荷物運賃料金後拂扱ノ件申左ノ通改

鐵道局長

昭和十二年十月十三日 「朝鮮ホテル」ノ行ノ次ニ左ノ如ク加フ

朝鮮總督官房會計課 京城 (管内私鐵各驛ヲ含ム) 書籍及印刷物 (營業中二八頁参照)

達乙第七百七十九號

昭和十二年十一月一日及同二日ノ兩日平壤ニ於テ開催ノ朝鮮工業協會主催第四回全鮮工業者大會參列者ニ對シ朝鮮國有鐵道旅客運送規則第六十五條ニ依ル運賃割引ノ取扱ヲ爲ス其ノ割引區間、割引期間及通用期間左ノ如シ

鐵道局長

一、割引區間 當局線各驛(驛員無配置簡易驛ヲ除ク)並ニ朝鮮內各鐵道運帶驛ヨリ平壤驛行

達乙第七百八十號

小荷物用輸送容器試驗運用取扱方ハ左ニ依ルベシ 昭和十二年十月十三日

鐵道局長

- 一 試驗期間 自昭和十二年十月十五日 至昭和十三年一月十四日
二 施行區間 第四列車 第九列車
三 輸送容器返送列車
四 取扱及受授方
五 取扱方

- (一) 左ノ各號ノ一ニ該當スル物品ハ輸送容器ニ之ヲ收納スルコトヲ得ズ
(イ) 貴重品
(ロ) 破損シ易キモノ
(ハ) 液汁ノ爲他ノ荷物ニ損害ヲ及ボス虞アルモノ
(ニ) 腐敗シ易キモノ

### 通 牒

#### ○通第七二三號

團體乘車ノ件

(營業課)

#### 798 釜山高女神宮大會出席團(フサメー)(電報既達)

三等 十八名

月日	區間	列車便名	客車種數	旅館名	記	事
十月十三日	京釜	第三列車				
十月十四日	京釜	第三列車				

#### 799 大邱商業學校神宮大會出席團(キウセ)(電報既達)

三等 二十名

月日	區間	列車便名	客車種數	旅館名	記	事
十月十三日	京大邱	第三列車				
十月十四日	京大邱	第三列車				
十月十五日	京大邱	第三列車				

#### 800 釜山高女神宮大會出席團(フサメー)(電報既達)

三等 二十一名

月日	區間	列車便名	客車種數	旅館名	記	事
十月十三日	京釜	第三列車				
十月十四日	京釜	第三列車				

#### 801 中央高等普通學校金剛山探勝團(チウオー) 三等 百五十名

月日	區間	列車便名	客車種數	旅館名	記	事
十月十四日	京釜	第三列車				
十月十五日	京釜	第三列車				

- (ホ) 引換證付ノモノ
  - (ハ) 要價額表示付ノモノ
  - (ト) 其ノ他輸送容器ニ收納スルヲ不適當ト認メタルモノ
  - (ニ) 輸送容器ニ收納セル小荷物ニ對スル受授證(以下明細受授證ト稱ス)ハ輸送容器内適當ノ箇所ニ封入スルコト
  - (三) 發驛ハ小荷物ノ品質、形狀ヲ考慮シ輸送容器内ニ適當ニ收納シタル上鎖錠封印ヲ爲スコト
  - (四) 著驛ハ受授證ト現品ヲ對照シ過不足其ノ他異狀ノ有無ヲ監査スルコト
  - (五) 輸送容器ノ返送ニ當リテハ著驛ニ於テ驛名荷票ヲ差替ヘ指定列車ニ依リ速カニ其ノ發驛ニ送付スルコト
- 受授方
- (一) 發驛係員ハ受授證ニ「輸送容器第何號」ノ例ニ依リ記入シ輸送容器ト共ニ乗務員ニ引渡スコト乗務員ヨリ著驛係員ニ引渡ス場合亦同シ
- (二) 中繼驛以遠著小荷物ヲ收納セル輸送容器ニ對シテハ發驛係員ハ便宜第二種中繼受授證ニ依リ明細受授證ヲ發行ノ上甲、乙、丙三片ヲ輸送容器ト共ニ乗務員ニ引渡シ丁片ヲ發驛ノ控トスルコト此ノ場合乗務員ハ丙片ヲ控トシ甲、乙二片ヲ中繼驛ニ於テ輸送容器ト共ニ中繼驛係員ニ引渡スコト前項ノ場合中繼驛ニ於テハイ號(四)ノ例ニ準ズ

月日	區間	列車便名	客車種數	旅館名	記	事
十月十五日	内金剛	剛探勝				
十月十六日	九龍淵	探勝				
十月十七日	外金剛	第七一列車				
十月十八日	高城	第七一四列車				
十月十八日	庫底	第七〇二列車				
十月十八日	安邊	第七〇四列車				
十月十八日	安邊	第五〇四列車				
十月十九日	京釋	第五五二列車				

十月十八日元山發第五五二列車釋王寺驛ニ停車方元山鐵道事務所長手配ノコト

802

#### 大邱信明女學校(シムメ)

三等 二十七名

月日	區間	列車便名	客車種數	旅館名	記	事
十月十四日	京大邱	第三列車				
十月十四日	内金剛	第五〇三列車				
十月十八日	外金剛	第七一四列車				
十月十八日	庫底	第七〇二列車				
十月二十日	京大邱	第四列車				

803

#### 宜川保聖女學校(セホメ)

三等 四十五名

月日	區間	列車便名	客車種數	旅館名	記	事
十月十四日	京宜	第一〇列車				
十月十五日	京宜	第五〇三列車				
十月二十日	外金剛	第七一四列車				
十月二十日	山間	第五一〇列車				
十月二十二日	京宜	第九列車				

代表者 金昌鶴氏

#### ○通第七二四號

鐵道省線連帶驛追加ノ件

(營業課)

鐵道省ニ於テハ左記自動車線各驛ニ於テ小荷物及貨物ノ取扱ヲ開始セル旨通知アリタルニ付當局線トノ連帶驛ニ追加ス

驛名

區間程

鹽原本線

西那須野(東北本線既設驛)

三三杆

關谷宿

二四杆

鹽原福渡

六杆

鹽原古町

矢板線

矢板(東北本線既設驛)

五四杆

關谷宿(鹽原本線)

#### ○通第七二五號

連帶線手小荷物程表中改正ノ件

(營業課)

昭和九年四月通第二六〇號首題ノ表中左ノ通改正ス  
内地ノ部1釜山ヨリノ分十和田線ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

區間	運賃
釜山-分十	1,405.0
分十-和田	1,519.0
釜山-和田	1,525.0

○通第七二六號

連帶線貨物營業料程表中改正ノ件  
昭和五年三月通第八〇號首題ノ表中左ノ通改正ス  
鐵道省線ノ部京鶴線ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

(營業課)

種別		運原本線	
貨物營業料	營業料	記	本
西那須野	西那須野		
(運原野)		(東北本線)	
國谷宿	33.0	11.0	(大坂線)
鹽原宿	57.0	19.0	
鹽原古町	63.0	21.0	
大坂線	大坂ヨリ	大坂ヨリ	
(大坂)		(東北本線)	
國谷宿	54.0	18.0	(鹽原本線)

(表一〇〇頁参照)

○通第七二七號

澤山兄弟商會航路貨物運賃表中改正ノ件  
昭和五年三月通第一二四號首題ノ表中左ノ通改正ス  
甲釜山經由鐵道發ノ部著港「神戸、兵庫、大阪」、「名古屋」、「横濱、

(營業課)

東京「及」尾ノ道」ノ項中「米」及「豆類(朝鮮産四斗呎入)」ノ行ヲ跳  
左ノ如ク改ム

神戸、兵庫、大阪	米	九三三、五五三、四六一、一五〇
	豆類(朝鮮産四斗呎入)	一〇五〇、六三〇、五二五、一五〇
名古屋	米	一一三三、六七九、五六六、一五〇
	豆類(朝鮮産四斗呎入)	一二八八、七七三、六四四、一五〇
横濱、東京	米	一一九二、七一一、五九六、一五〇
	豆類(朝鮮産四斗呎入)	一、三五六、八一四、六七八、一五〇
尾ノ道	米	九二八、五五七、四六四、一五〇
	豆類(朝鮮産四斗呎入)	一、〇五六、六三四、五二八、一五〇

(營業中七四一頁参照)

辭令

京場助所主 同 電機同養講	技師	佐藤 信一
調二養講	書記	新木英之助
同 養同	同	實島 備傳
同 同	同	桑原 洵治
同 同	同	山内 芳夫
同 同	同	妻木 麟夫
同 同	同	大庭健一郎
同 同	同	山脇 隆二
同 同	同	泉谷 秀藏
同 同	同	影山 節夫

電通養講	技手	中山 正
京檢 助同	同	北代 猛
京場客職主同	同	大崎 博愛
同 貨職主同	同	伊澤亀次郎
同 仕職主同	同	和田 隆
同 塗職主同	同	五十嵐三次
同 三作 同 組職助	同	河内 楠衛

九月三十日

任朝鮮總督府鐵道局副參事

書記 永田 龜治

七級俸下賜

彼從七位

釜山鐵道事務所庶務係勤務ヲ命ス(鐵)

十月七日

朝鮮總督府鐵道局鐵道手ニ任ス 月俸五十六圓ヲ給ス

威保線區線路手ヲ命ス 雲浦在勤(鐵)

十月十一日

(營業課)

願ニ依リ雇員ヲ免ス

雇員 三好 貞子

十月十一日

備人ヲ命ス 日給五十五錢ヲ給ス	(營業課)	趙 德 煥
新義州鐵道會館料理手ヲ命ス		
備人ヲ命ス 日給五十五錢ヲ給ス		山本ヒツエ
新義州鐵道會館給仕ヲ命ス		
備人ヲ命ス 日給三十八錢ヲ給ス		吉 禎 三
新義州鐵道會館給仕ヲ命ス		
以上十月十一日		

(京城建設事務所)

京城建設事務所庶務係事務見習ヲ命ス

玉工 庶

備人 泉田 辰雄

十月十日

(平壤建設事務所)

滿浦在勤ヲ命ス

日給二圓二十八錢ヲ給ス

十月十一日

技 木

備人 内村 敏一

(龍山鐵道醫院)

(各通)

願ニ依リ備人ヲ免ス

看婦

備人 姜 順 伊

十月十一日

同 小野 壽美惠

### 雜 錄

●死亡 釜鐵庶副參事水田龜治ハ十月七日死亡

●照召者歸任 經購員山口新市郎ハ應召中ノ處十月一日召集解除トナリ十月二日歸任セリ

#### ●雇員試驗施行ノ件

左記ニ依リ雇員試驗ヲ施行ス、各課所場院長ハ所屬備人中適當ト認ムル者ヨリ受験願書(履歷書添附)ヲ徵シ十月三十一日迄ニ到著ノ日取ヲ以テ庶務課長宛提出セラレタシ

- 一 受験者ハ昭和十二年九月ニ於テ三箇年以上(月計算トシ試験期間ヲ除ク)當局ニ勤務スル備人ニ限ル
- 二 試驗ハ筆記及口述ノ二種トス
- 三 口述試驗ハ筆記試驗ニ合格シタル者ニ對シ施行ス
- 四 前年度筆記試驗合格者ハ筆記試驗ヲ免除ス
- 五 筆記試驗ハ十一月十六日(火曜日)午前九時ヨリ各鐵道事務所所在地ニ於テ施行ス
- 六 口述試驗施行日時及場所ハ追テ通知ス
- 七 筆記試驗ハ左ノ必須科目及選擇科目ニ付之ヲ行フ

算術(筆算及珠算)

國語(讀方、解釋、書取、作文)

●國語ノ答案ニ付キテハ筆跡ノ良否ヲモ探點ス

#### 選擇科目

- 旅客事務大意
- 貨物事務大意(手小荷物ヲ含ム)
- 運轉事務大意
- 會計事務大意
- 物品事務大意
- 選擇科目ハ受験者ヲシテ豫メ一科目ヲ選擇セシム
- 八 受験志願者ハ別記様式ノ願書(履歷書添附)ヲ十月二十日迄ニ所屬課所場院長ニ提出スベシ(註)用紙ハ課所場院長ヲ經テ交付ス
- 九 受験願書ニハ選擇科目ヲ朱書スベシ
- 但シ口述試驗ノミノ受験者(前年度筆記試驗合格者)ハ口述試驗ト朱書スベシ
- 十 筆記試驗受験者ノ携帶品左ノ如シ  
鉛筆又ハ萬年筆、算盤、小刀、辨當  
(別記様式(願書)省略)

#### ●荷物搜索 通報先 平壤鐵道事務所

第五八號

洗濯石鹼 箱入 五箇 二一五疋

右ハ九月二十一日鎮南浦驛發价川驛著貨物通知書第八〇號ニ對スルモノ

送	九月二十一日	鎮南浦平壤間	積合車積
送	九月二十三日	平壤 价川間	積合車積
送	不著		第八〇三列車

#### 第五九號

洗濯石鹼 箱入 五箇 二一五疋

右ハ九月二十一日鎮南浦驛發价川驛著貨物通知第八一號ニ對スルモノ

送	九月二十一日	鎮南浦平壤間	積合車積
送	九月二十三日	平壤 价川間	積合車積
送	不著		第八〇三列車

#### ●荷主搜索 通報先 城津鐵道事務所

第一七號

鐵管 九本 七五疋

長少三米、口徑四糎ノモノ五本、二糎半ノモノ四本

右ハ九月十七日第五一七列車成興仕立城津行積合車ニテ到着

#### ●荷物搜索 通報先 城津鐵道事務所

第一八號

メーター 箱入 一箇 五七疋

右ハ十月二日京城發永安著通知書第四五號ニ對スルモノ

送	十月三日	京城仕立清津行「ヤ」中間車積	
送	不著	城津ニテ不足發見	

第一九號

ミシン機 箱入 一箇 二三疋

右ハ九月二日京城發綠城著通知書第四七七號一六箇口ニ對スルモノ

### 局友會雜報

#### ●局友會役員變更ノ件

局友會役員左ノ通變更セラレタリ

本部

新

舊

相撲部委員	釜山支部	竹下 末吉	古屋 武
柔道部長		古谷 正	田澤 靖
相撲部長		永吉 安治	都志見克巳
水泳部長		立石秀三郎	吉村 藤雄
狩獵部長		稻角 美穂	古谷 正
撞球部長		都志見克巳	高倉 彌
美術部長		田澤 靖	永吉 安治
園藝部長		高倉 彌	吉岡 増三

送	九月二日	京城仕立清津行積合第二〇三七號車積	
送	不著	右ニヨリ檢査確定ノ處全部積殘ノ發見保管中紛失	

●補脫 昭和十二年九月九日局報乙第六百九十二號龍山權津電報線ノ記事欄中「清津線津間ハ清津線津中繼線ヲ利用シテ双併法施行」ヲ脱ス

●正誤 十月十二日局報五七頁下段二十行目、角「幸雄」ハ「角」幸雄ノ、同五八頁上段六行目「限元」達「ハ」限元 達「ノ」同十六行目「蔭山」東「ハ」蔭山 東「ノ」執モ誤

▲鐵道關係雜誌記事目錄 第二四一號之二

(本誌は、鐵道關係雜誌の附録として、毎月一冊、郵政省印刷局より發行する。)

(圖書館)

觀光事業と國土美化(田誠)	鐵道界	一六卷六	5
人間と客扱(吉田朝輔)	同	一六卷六、七	51
貨物運送狀の語(山根照次)	同	一二卷七	54
貨物設備に就ての雜感(三つ三つ)(相原兵太郎)	同	一二卷七	54
特殊回數乘車券に就て(川西實夫)	同		
運輸、信號、通信、鐵道事故			
國有鐵道ガソリン動車の運轉區間指定に就ての			
一考察(池上信治郎)	汎交通	三八卷六	M4
入換機關車操縱法(布田喜吉)	同	一七卷五	H1
曲線上に於ける機關車輪運動狀態の圖式研	同	一七卷六	H2
究(一)(宿田嘉市)	同	一七卷六	H3
操車場作業と其の費算に就て(川崎清)	同		
單機で一軒運轉に要する費用は大體五十錢位で			
ある			
プライミング防止に就ての考察(田中幸助)	同		
滿人機關車乘務員技術教育の現狀(藤西定明)	同		
操車場作業と其の費算に就て(川崎清)	同		
鐵道運轉事故の原因と其の防止對策(下田生)	鐵道内外	二六卷五	H2
運輸職員に必要な保線知識、軌條探傷車の	鐵道之研究	一七卷五	C8
附(山名光)			
幼兒の危險辨識能力(森本寬美)	鐵道教育	一八卷七	L2
軌條撒水と撒砂併用は抵抗を増加する(松原新司)	鐵道界	一六卷六	H1
運轉取扱心得の研究(堀松知次)	運轉界	五卷七	M1
鐵道軌道踏切道に於ける事故例(一)(大谷留五郎)	臺灣鐵道	二六年三〇一	B
巴里ブルジョア操車場を見る(武部英治)	朝鮮鐵道協會誌	一六卷七	E6
運轉事故防止の策(一)(前崎勇介)	鐵道青年	二九年六	L1
	鐵道軌道經營資料	二〇卷六	N1

定價 一箇月 郵稅共 六 十 三 錢

鐵道實業、規則

旅客運賃改正に伴ふ半年定期券値上げは妥當か(深澤幹藏)	鐵道内外	二六卷六	H3
鐵道運賃より見たる農業者の特殊意義(前田陽之助)	鐵道内外	同	
外國鐵道事情			
歐米に於ける交通機關の現在及將來(森謙次郎)	朝鮮鐵道協會誌	一六卷六	B9
道路運送、小運送			
小運送業法及日本通運株式會社法の概要(片岡謙郎)			
小運送業の維新に際して(村上義一)	汎交通	三八卷五	M4
獨逸國の自動車交通部從業員の待遇(岡田甲子之助)	鐵道内外	二六卷五	H2
省營自動車と國產車(淺野泰助)	同	二六卷六	H2
省營自動車旅客運賃の改正(平間林七)	同	一六卷七	H1
滿洲の自動車運輸と其の使用車に就て(丸山鐵道)	同		
自動車(菅健次郎)	鐵道軌道經營資料	二〇卷六	M1
國產自動車の將來と自動車道問題(島田孝一)	乘合と貨物	五卷四	B18
トララーの積載量限界(松葉盛重)	同	五卷五	B18
省營バス問題と第七十議會	乘合自動車	一一卷五	E17
航空運送			
航空機運送の趨勢(和田小六)	汎交通	三八卷七	M4

▲業務參考新着圖書 第一六號

(圖書館)

朝鮮總督府 朝鮮地質調査要報 一二昭一 非賣 地質調査所	DBCL11
京城商工會 京城に於ける工場調査 昭一二一〇〇 同所	DBK123
滿洲協會 蒙古學 一 昭一二一〇〇 同會	DBK2212

發行所 京城府廣江通十五番地 朝鮮總督府鐵道局

朝鮮總督府 鐵道局 報

第三百七十三號

昭和十二年十月十四日

木 曜 日

(大正十四年) 第三種郵便物認可

(日刊除日曜及祝祭日ノ翌日)

長クモ 人參謀長 小官ニ對シ優渥ナル御言葉ヲ賜ハリタルコト本報外ヲ以テ諸子ト共ニ光榮ヲ分チタルコロナルガ總督並ニ政務總監ニ於テカレテモ今回小官ガ有難キ御言葉ヲ拜受シタルニ恐懼感激セラレ總督ヨリ直ニ御禮ヲ言上セラレ且鐵道從事員ノ榮譽ヲ稱ヘラルト共ニ重ネテ從事員ノ辛勞ニ對シ懇篤ナル慰勞ノ言葉ヲ寄セラレタリ

猶小官ヨリハ左ノ通御禮言上ノ手續ヲナセリ  
優渥ナル御言葉ヲ賜リ感激ノ至リニ堪ヘズ將來愈部下ヲ督勵シ御負托ニ副ヒ奉ランコトヲ期ス  
昭和十二年十月十四日 鐵道局長

達 示

○達甲第七百八十號

昭和十二年三月達甲第六百六十九號朝鮮鐵道黃海線發散積貨物連帶取扱方中左ノ通改正ス

昭和十二年十月十四日

鐵道局長

局報 第三百七十三號

昭和十二年十月十四日

(第三種郵便物認可)

六九

鐵道ノ項中著釋欄「兼二浦」ノ下ニ「馬洞」ヲ加フ  
金銀ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

石炭 新鳳山 東海州、那馬、海州、沙里院  
一般所定ニ依リ接續鐵ヲ收受 (營業中七〇六ノ一頁參照)

○達甲第七百八十一號

昭和九年七月達第六百五十八號鐵道電報「タイプライター」受信取扱手續中左ノ通改正ス  
昭和十二年十月十四日 鐵道局長

通 牒

○通第七二八號

(營業課)

牛乳用空罐無貨返送方ノ件  
左記託送ノ牛乳用空罐ニ對シ發驛迄小荷物扱無貨返送ノ取扱ヲ承認セリ

託送者名	發 送 所
三 爪 野 牧 場 羅	南 水 安